

2018 年のスタートにあたり

皆様方には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨今の情勢変化は目まぐるしく、金融業界におきましてはマイナス金利政策や FinTech の興隆により、従来のビジネスモデルが大きな変革を求められており、またその他の業界におきましても、AI やロボット技術の進化により、仕事のあり方が大きな転換期を迎えているものと認識しております。

そうした中、当社グループにて監視を行う ATM 台数は、おかげさまでもちまして昨年 2 月に 10 万台を突破し、その後も順調に増加しております。これも、お客さまをはじめ、当社グループと関わっていただいております皆様方からのご愛顧・ご指導の賜物であると認識しております。改めて御礼申し上げます。

一方で、人材不足や人件費高騰、仮想通貨等新たな決済手段の登場により、ATM とそれに関わる監視・運用業務にも大きな変革が求められています。昨年度より開始しておりますグループ中期経営計画の目標の一つに、「ICT による ATM 監視・運用アウトソーシングの革新」を掲げておりますが、業界のリーディングカンパニーとして、本年はまさにこれを具体的な“かたち”にしていく年にしたいと考えております。

また、行政や海外などの新たなマーケット分野におきましても、当社グループが得意とする共同化アウトソーシングにより、効率的な社会を実現すべく、独創的なソリューションを“かたち”にして、具体的な成果が出せる年にしてまいります。

今後も中期経営目標（*）の実現と、グループビジョンである「人と ICT と発想で、安心と快適と驚きの生活インフラを、地域と世界の人々に提供」すべく、グループ一丸となって邁進してまいります。引き続き、関係の皆様方からご指導ご鞭撻賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆さまの 2018 年が素晴らしい 1 年となりますことをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

* < 中期経営目標（2017 年 - 2020 年） >

1. ICT による ATM 監視・運用アウトソーシングの革新
2. 金融・行政分野における独創的なソリューションの創出
3. 中国・ASEAN ビジネスの確立
4. トップベンチャーとしての ATMJ 企業文化の醸成

2018 年 1 月 1 日
日本 ATM 株式会社
代表取締役社長 中野 裕